

めには、官と民の役割を明確にし、協会と連携がしっかりとれる体制をつくり、充実・発展させていくべきではないか。

区長 ①国際交流は区民による自主的な活動で行われることが望ましいが、それを支えるには自治体間の交流も重要と

考えており、区の役割に位置付けて取り組み、市民レベルでの国際交流を進めていきたい。②幅広い区民が国際交流できるという交流センターとしての協会と自治体としての交流という有機的な結びつきの側面からも、連携をさらに強めていきたい。

ドッグランの設置に前向きに取り組み

①最近では、飼い主同士での訓練などで、犬のしつけも良くなっており、また、法律でも飼い主の責務が規定されている。条例の「他人に迷惑を及ぼす行為」、「公園の管理に支障のある行為」ということで、犬だけを公園へ立ち入り禁止にするのはおかしいのではないか。②区はドッグランの設置を必要と考えているか。

区長 ①犬の飼い主と公園利用者との合意がないと禁止をすぐに解くことは難しいが、飼い主のマナーの向上も期待できる状況にあり、今後の検討課題としたい。②犬が人々の生活の中に定着している状況から、ドッグランは都市の中で必要とされる施設になりつつあると考えている。



犬の広場(平和の森公園)

歩きたばこの規制をせよ

歩きたばこは大変危険であ

防災とくらしの視点で 中野駅周辺まちづくりを

日本共産党議員団 来住 和行

①調査検討委員会の資料によると、区は超高層ビル群への仲間入りを考えているのか。②これまで中野駅周辺整備の調査費として5億600万円をつぎ込んでいる。調査委託の目的を外れた計画をすべきではないと考えるがどうか。③開発許可や土地区画整理事業の場合、区の財政負担は発生しないのか。④調査検討委員会における発言や区民提案はどう生かされるのか。

区長 ①先行事例の良いところを参考に、中野の特質

り、規制を道徳心に頼ることは限界にきている。「中野区吸い殻、空き缶等の散乱防止に関する条例」を改正し、罰則付きの環境条例として、規制するべきではないか。

区長 歩行喫煙の禁止を求める声も増えてきており、現行の条例を環境美化などの観点から見直しを行い、歩行喫煙の規制を含め検討していきたい。



中野駅北口周辺

教育長 ①学校訪問などにより実態を把握しているが、30人以下学級と比較すると、40人近い学

級は余裕がないように感じている。②29道県2政令指定都市で学級編成の弾力化などの取り組みが行われていることは承知している。③特別区教育長会として、毎年要求している。

区長 さまざまな提案は意見として承るが、建築紛争を予防するには、地域住民自らが主体となったまちづくりが行われること、まちのあり方に地域住民の合意が形成されていることが重要であり、この条例の改正という方法は、難しいと考えている。

重要な政策決定の判断基準を示せ

無所属の会 奥田 けんじ

これまで区は、重要な政策決定をするにあたって、基本構想の改定を待つとしていたが、基本構想改定前に、中野サンプラザの購入、保育園の民営化など、重要な政策決定が、次々と行われている。基本構想の改定を待つものと、待たないものの基準は何か。

区長 基本構想が描く10年後の姿を問われれば、基本構想の改定を待つのは当然だ。一方で、区民サービスの向上、財政再建などの重要な選択については、休むことなく続け、着実に手を打たなくてはならない。

10年後が判断基準なのか

10年後の姿から導きだされるものについては、基本構想の改定を待つということだが、

区政運営に協力する民間企業が必要では

説明会の時間を十分確保するための標識設置期間の延長、着工前の工事協定締結、あっせん・調停における区の権限と役割の強化などを盛り込むべきと考えるがどうか。

区長 さまざまな提案は意見として承るが、建築紛争を予防するには、地域住民自らが主体となったまちづくりが行われること、まちのあり方に地域住民の合意が形成されていることが重要であり、この条例の改正という方法は、難しいと考えている。

地域特性を把握して 安全対策を実施せよ



中野サンプラザ

心なまちづくり条例制定の取り組みのなかで、地域特性を踏まえた、地域ごとの防犯の取り組みへの支援を検討する。

警視庁の犯罪発生マップによると、住居侵入が南中野で多く、ひたたくりは中野、野方、都立家政が多いなど、地域によって特性がある。区は安全を考えるならば、この地域特性を把握して、対策をとるべきではないか。

区長 区と協力、連携する相手方として、NPOなどの他に、さまざまな企業とも

持っている資源・資産の有効活用を図るべき

公明党議員団 飯島 きんいち

「防災センター・区民斎場」用地が未整備のままであるが、区民斎場についてどう考えているのか。予定地での施設整備を白紙とするならば、使用を想定し条例の改正までした地域センターが斎場の役割を果たせるのか。規定整備も含めて検討を進めるべきだ。ゼロベースで見直すというが、これは配置の見直しであって、機能の見直しでないと、状況の変化などの到達点として現状があると認識している。

区長 利用環境や運用状況の変化などの到達点としてゼロベースでの見直しにあり、地域での施設のあり様まで検討する必要があると考える。

基金運営方針の位置付けは

①16年度予算編成方針の中で当面の基金運営方針とでもいべきものが示された。現在の財政状況に対応するには便宜な対応だけでは困難と考えるが、どのような位置付けなのか。②財源の問題で着てできない施策を実施するために、ミニ公募債についての研究をはじめではどうか。学校施設だけではなく、大規模公園整備の手法としても有力と考えるがいかがか。



屋上緑化(環境リサイクルプラザ)

したものである。②区民が資金供給者となることにより、事業への参加意識が高まるようなものが好ましく、具体的な研究をしたい。

災害対策の体系的検討を

①震災対策への関心が高まっている中、区の地域防災力や危機管理能力の評価をすべきでは。②都市型集中豪雨の際に、下水道の水位情報など災害リスクの段階に応じた情報提供のシステムを検討実施すべきと思うがどうか。

区長 ①自らの防災・危機管理能力の実態を的確に把握するためにも客観的な評価に取り組みたい。②下水道のデータの提供者である東京都と協議しながら検討したい。

公共施設緑化の先鞭を

エコシティへの取り組みや共同住宅の屋上緑化に先鞭をつける意味から、区営住宅の屋上や壁面への緑化を検討すべきだがどう考えているのか。

区長 既存の区営住宅の屋上は構造上、無理だが、壁面は可能な場所の選定や実施方法など検討する。また、新築や改築の際に実践例を参考にして実施の検討をしたい。